川柳

「デリート」でポンと消したい大失敗　藤井　節子

一人居へ届く福祉の輪が温い　竹本　タエ子

新総理百戦練磨国背負う　寺畑　俊子

動揺がもろに出ている夫の語尾　田中　たづ子

秋桜や細い身体で元気だネ　磯部　佳子

「でりーと」でぽんとけしたいだいしっぱい　ふじい　せつこ

ひとりいへとどくふくしのわがぬくい　たけもと　たえこ

しんそうりひゃくせんれんまくにせおう　てらはた　としこ

どうようがもろにでているつまのごび　たなか　たづこ

こすもすやほそいからだでげんきだね　いそべ　よしこ

俳句

寒鯉の泥かきあげる大ジャンプ　金内　憲一

杵振る子に合はす掛け声冬青空　林　保江

満員の路面電車や夕時雨　馬場　精作

ほんのりと石路の花の香国宝展　林　美津江

秋霖や静かにはずすネックレス　椎木　道子

かんごいのどろかきあげるだいじゃんぷ　かねうち　けんいち

きねふるこにあわすかけごえふゆあおぞら　はやし　やすえ

まんいんのろめんでんしゃやゆうしぐれ　ばば　せいさく

ほんのりとつわのはなのかこくほうてん　はやし　みつえ

しゅうりんやしずかにはずすねっくれす　しいき　みちこ

短歌

君と読む「足長おじさん」「ごんぎつね」
二人っきりの心の時間

賎間　星

秋風に空にシーツを投げ出せば
泳ぐが如く白さ眼に浸む

末永　敦子

立ち昇る熱気ピリピリ石段上
お網代守る兄弟ワッショイ

矢田　悦子

ガンガンと鉄骨打ち込む音響く
来春オープン老人施設

山口　正子

にわか雨点滅怖し老いの足
次の青待つ片陰の下

河野　美津子

きみとよむ「あしながおじさん」「ごんぎつね」
ふたりっきりのこころのじかん

ざいま　せい

あきかぜにそらにしーつをなげだせば
およぐがごとくしろさめにしむ

すえなが　あつこ

たちのぼるねっきぴりぴりいしだんえ
おあじろまもるきょうだいわっしょい

やた　えつこ

がんがんとてっこつうちこむおとひびく
らいはるおーぷんろうじんしせつ

やまぐち　まさこ

にわかあめてんめつこわしおいのあし
つぎのあおまつかたかげのした

かわの　みつこ

自由律俳句

老いの坂たしかめあう手と手

西岡　悦子

ぽかぽかと一日の重みが抜けてゆく

岡部　雅江

孫の頑張りにがまぐち大きく開いた

松下　満江

宿題を残し未完成の心で生きる

田中　里美

夜あけの空気秋をみた二人

林　陽子

おいのさかたしかめあうてとて

にしおか　えつこ

ぽかぽかといちにちのおもみがぬけてゆく

おかべ　まさえ

まごのがんばりにがまぐちおおきくひらいた

まつした　みつえ

しゅくだいをのこしみかんせいのこころでいきる

たなか　さとみ

よあけのくうきあきをみたふたり

はやし　ようこ